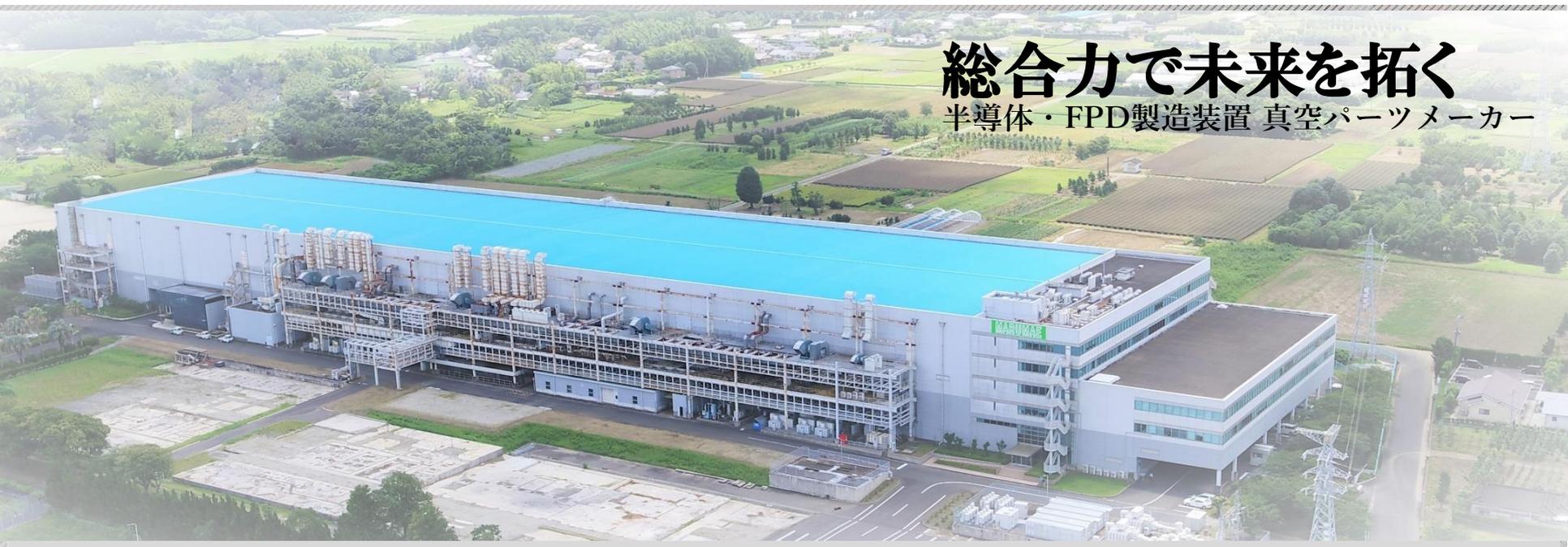


東証(TSE):6264

株式会社マルマエ  
2024年8月期 第2四半期決算 補足資料

2024年3月28日

総合力で未来を拓く  
半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



# 1. 業績予想の修正

## 上期（第2四半期）・通期売上高、損益の修正

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
上期当初予想	2,400	△82	△160	△113
上期実績	2,040	△78	△134	△101
通期当初予想	7,000	680	562	400
通期今回予想	4,680	77	△39	△34

### 【売上高修正理由】

その他分野で約20億円を予定していた中国向け太陽電池製造装置部品について、当期第4四半期以降で製造出荷を調整中ですが、当初計画から大きくずれて現時点でも受注未了であるなど、当期中の検収可能性が不明瞭なため、売上見通しから大部分を除外する判断としました。半導体分野では、新規顧客向け受注は順調に進展しながらも、既存顧客の在庫調整が長引いたことや、売上の大部分をしめる消耗品の受注は見通しが立てにくいことから保守的な見通しに修正しました。FPD分野については、ほぼ当初想定通りに推移しております。

### 【損益修正理由】

上期につきましては、売上高の減少はありながらも変動費率の改善及び販売管理費の抑制で、営業損益は想定程度に着地いたしました。一方で、第2四半期に当初想定していなかったM&Aに関するデューディリジェンス費用13百万円が発生いたしました。なお、該当M&A案件につきましては条件が整わず見送りしました。

通期損益につきましては、その他分野において大幅な売上未達の見通しとなったことを主因に損益は悪化する見通しとなりました。その一方で、売上内容の変化によって粗利率が改善したほか、稼働率の改善により想定以上に受注損失引当金と棚卸評価損の改善が見込まれる環境となりました。

以上の理由で損益の見通しを修正いたします。

## 2. 決算概要

### PL分析

PL

	2023年8月期 第2四半期累計期間		2024年8月期 第2四半期累計期間		対前年同期 増減率 (%)
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	
受注高 ※	2,865	—	1,993	—	△30.4
受注残高 ※	1,311	—	1,092	—	△16.7
売上高	4,240	100.0	2,040	100.0	△51.9
売上原価	2,917	68.8	1,793	87.9	△38.5
売上総利益	1,322	31.2	246	12.1	△81.3
販売管理費	395	9.3	325	16.0	△17.7
営業利益	927	21.9	△78	△3.9	—
経常利益	913	21.5	△134	△6.6	—
特別損益	△2	0.1	0	0.0	—
当期純利益	644	15.2	△101	△5.0	—
EPS (円)	51.00	—	△8.06	—	—

※ 受注高及び受注残高には有償受給材分が含まれております。

Point

#### ①受注状況 ※

- 半導体分野：1,488百万円  
(対前年同期：31.4%減)
- F P D分野：470百万円  
(対前年同期：82.9%増)
- その他分野：34百万円  
(対前年同期：92.1%減)

#### ②売上高

- 対前年同期51.9%の減少  
(分野別の詳細は次頁)

#### ③売上原価

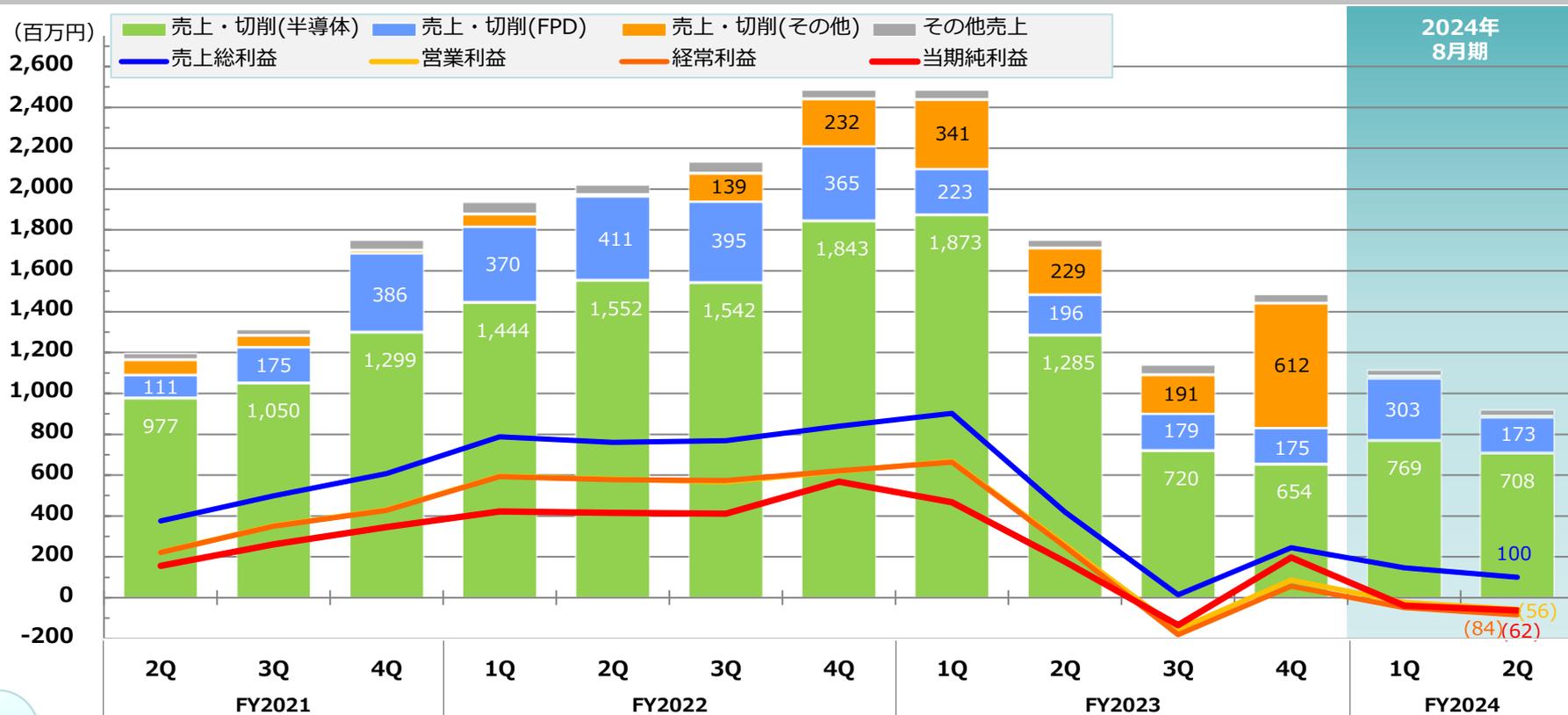
- 外注加工費：379百万円減少  
(対前年同期：64.2%減)
- 材料費：374百万円減少  
(対前年同期：56.3%減)
- 労務費：190百万円減少  
(対前年同期：23.6%減)

#### ④販売管理費

- 販管人件費：44百万円減少  
(対前年同期：21.9%減)
- 研究開発費：16百万円減少  
(対前年同期：33.1%減)

# 2. 決算概要

## 四半期業績の推移



Point

### ①売上高は、太陽電池製造装置部品未受注で減収

- 半導体分野：1,478百万円（対前年同期：53.2%減）
  - ・停滞継続も、底打ち感があり期中では増加傾向
- FPD分野：476百万円（対前年同期：13.5%増）
  - ・G6・G8 OLED向けで売上回復

### ■その他分野：19百万円（対前年同期：96.5%減）

- ・太陽電池製造装置部品の受注遅延で減少

### ②損益面は売上減少と稼働率低下の影響等で減益

- ・前期末比で受注損失引当金等は66百万円減少（改善）
- ・当期純損失の計上：101百万円

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、Pointのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

## 2. 決算概要

### B/S分析

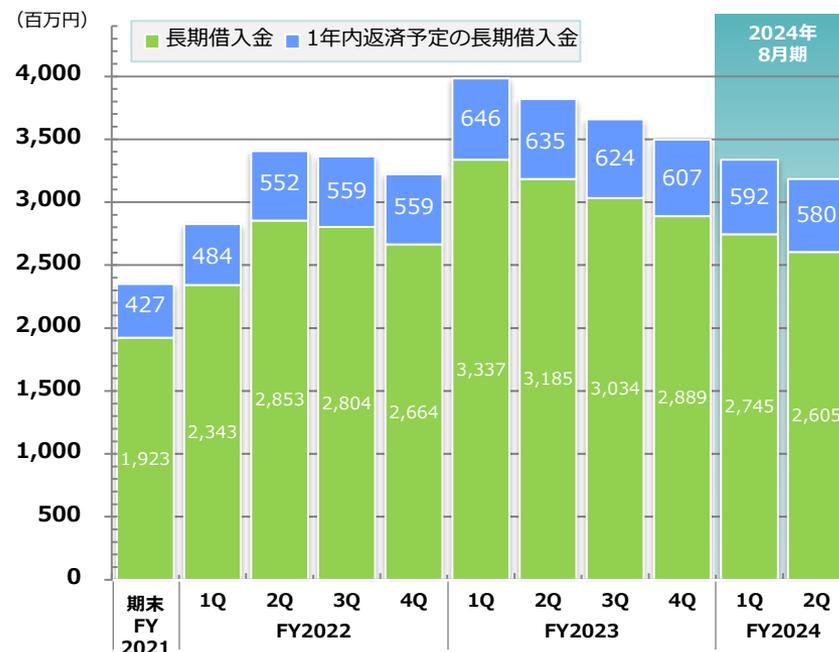
B/S

	2023年8月期 会計年度末 (百万円)	2024年8月期 第2四半期末 (百万円)
流動資産	5,448	4,904
現金及び預金	3,496	3,061
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	982	1,048
棚卸資産	813	754
固定資産	6,163	6,059
建物・土地	2,537	2,485
機械及び装置	3,271	2,889
流動負債	1,165	1,104
有利子負債(短期)※	607	580
固定負債	2,973	2,692
長期借入金	2,889	2,605
負債合計	4,138	3,796
純資産合計	7,473	7,168
総資産	11,612	10,964

※ 有利子負債(短期)：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① **資産：10,964百万円(前期末比:647百万円減少)**
  - ・現金及び預金：435百万円減少
  - ・有形固定資産：132百万円減少
- ② **負債：3,796百万円(前期末比:341百万円減少)**
  - ・長期借入金：283百万円減少
  - ・1年内返済予定の長期借入金：26百万円減少
- ③ **純資産：7,168百万円(前期末比:305百万円減少)**
  - ・配当金の支払い：227百万円
  - ・四半期純損失の計上：101百万円
  - ・自己資本比率：64.4%→65.4%



### 3. 事業環境

#### 今後の販売分野別の環境と方針等

##### 半導体分野

- ◆ 下期の市場環境はロジックとメモリ共に投資計画出始める
- ◆ 新顧客向け量産開始。既存顧客からの受注も回復傾向
- ◆ 人員拡充など生産能力再増強を準備し拡大に備える

##### F P D 分野

- ◆ 当期以降のOLED向けの投資計画増加傾向
- ◆ OLED G8投資の一部は若干後ずれするが、来期以降も継続見通し
- ◆ EBW活かしたシェア拡大戦略継続

##### その他分野

- ◆ 中国市場停滞。2Qから予定のPV※向け未受注
- ◆ 新型太陽電池装置の試作品受注
- ◆ 中国PV向け案件は、4Q以降で出荷打合せ中も時期不明瞭

※…Photovoltaic（光起発電）の略。太陽光発電のことを指す

# 4. 2024年8月期の業績予想

## 当期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

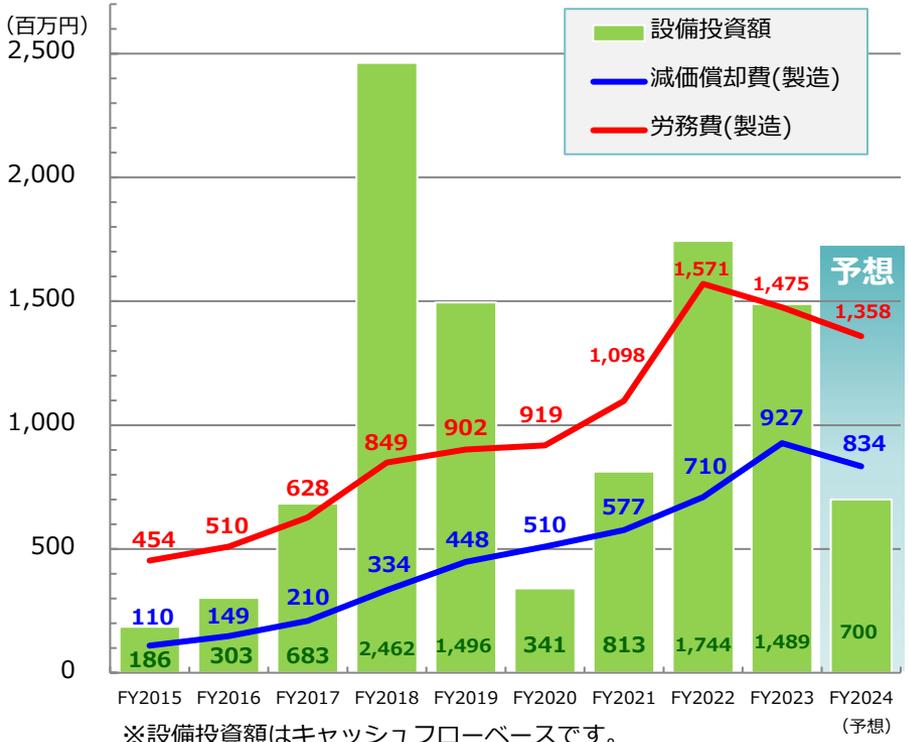
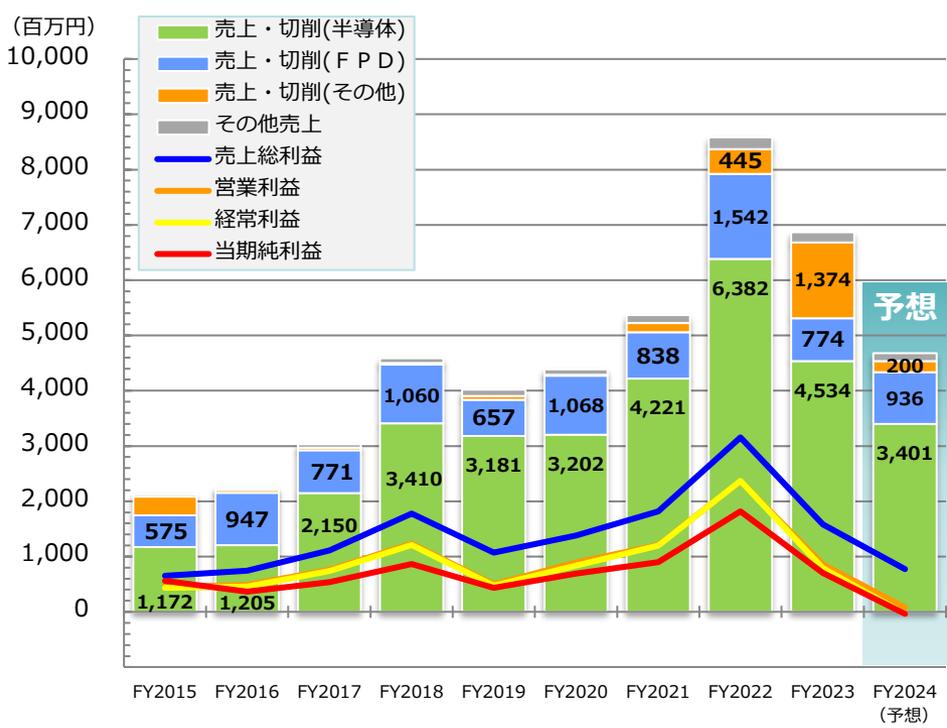
業績  
予想

2024年8月期 業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
通期	4,680	77	△39	△34	△2.69

その他のPV向けは4Qから貢献可能性あるも、現時点でも受注未了で不透明なため一部除き売上予想から除外し売上高と損益見通しを下方修正  
**※配当予想につきましては、現時点で変更はありません**

Point

- ✓ 半導体では中国外の市場にも改善傾向
- ✓ 半導体新顧客向けは量産受注と出荷開始
- ✓ 今期投資は抑制も来期増産投資は準備
- ✓ PV向け売上は後ずれし時期不明瞭



私達は持続可能な経営を念頭に  
技術で社会貢献できる企業を目指します

# 注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理本部管理部総務課 IR担当

[ir@marumae.com](mailto:ir@marumae.com)

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

# Company Profile

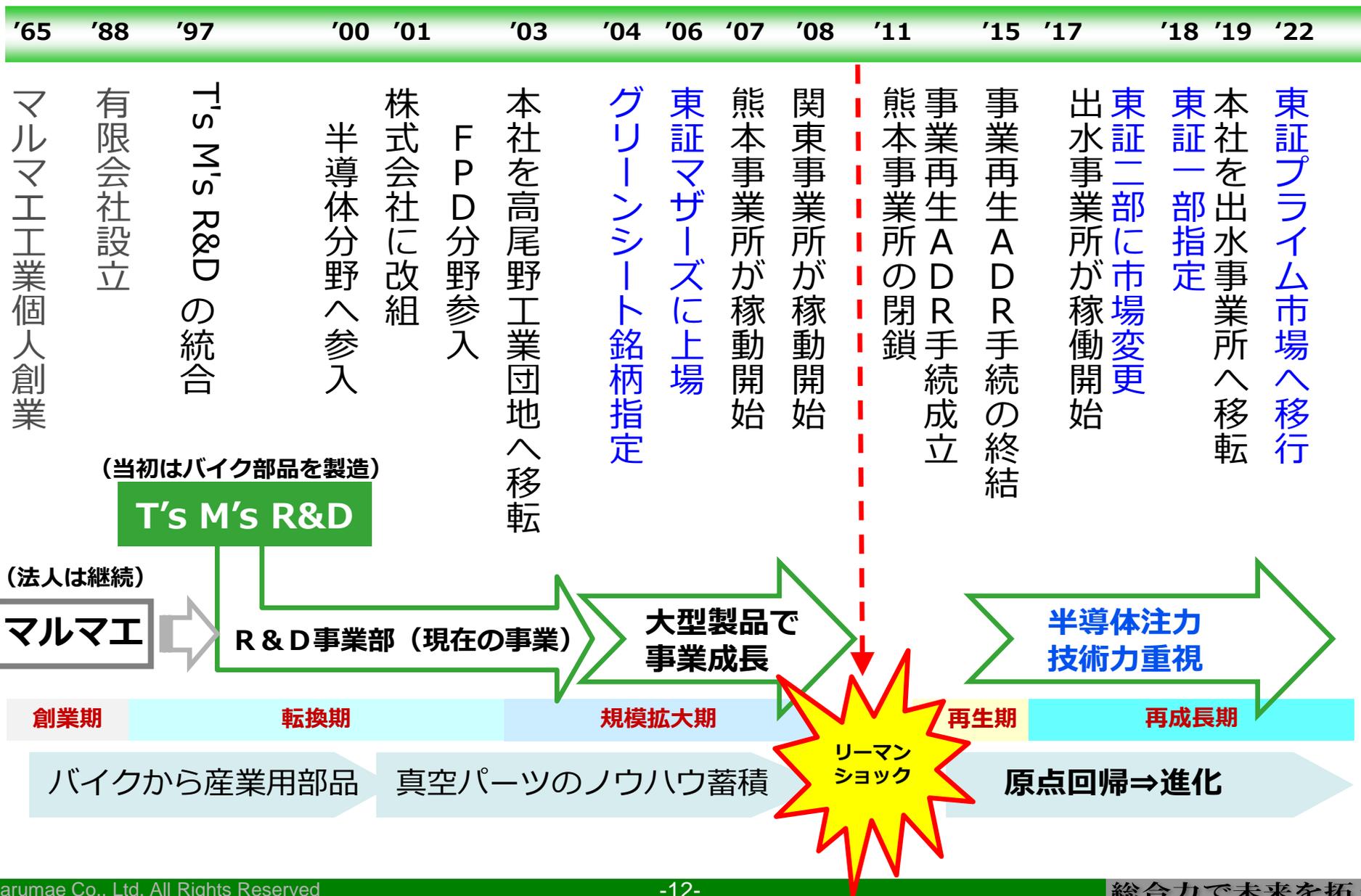
企業情報

# 参考資料（現事業の始まり）

現在の事業はレース活動から始まりました

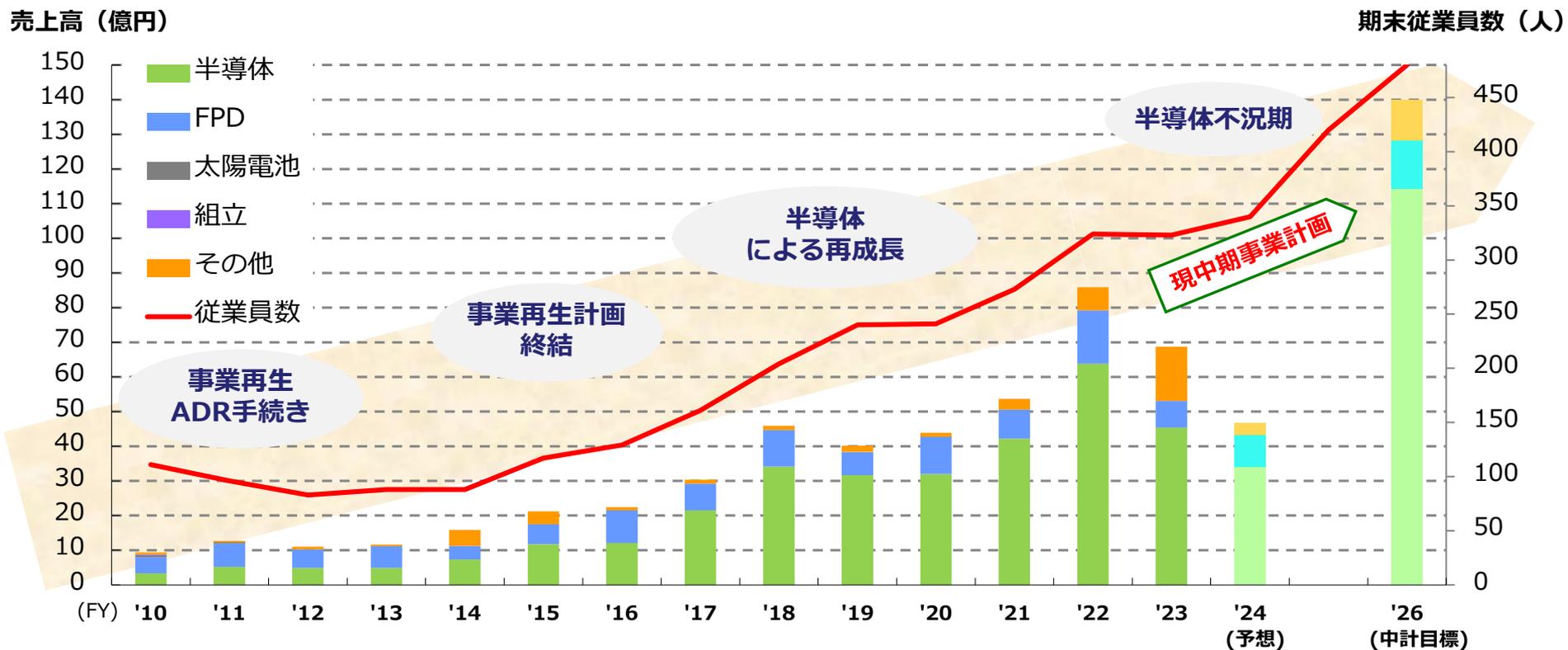


# 参考資料（沿革と事業変遷）



# 参考資料（沿革と事業変遷）

## 事業成長と成長ドライバー



# 参考資料（現在の事業内容）

## 主要工程・主要製品

当社製品は半導体・FPD製造装置の心臓部を支えています

主要工程（半導体）

エッチング  
CVD  
コータ/デベロッパ  
洗浄

（FPD）

エッチング  
CVD  
コータ/デベロッパ  
スパッタ  
洗浄  
イオン注入

主要製品

真空チャンバー  
シャワーヘッド  
排気板  
静電チャック  
ヒーター類  
上部電極  
ターゲット  
搬送系パーツ類  
各種真空パーツ類

※画像はイメージです

# 参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）
設立	1988年10月
資本金	12億4,115万円（2024年2月29日現在）
役員	代表取締役社長 前田 俊一 取締役 海崎 功太 取締役（監査等委員）外西 啓治 取締役 安藤 博音 取締役（監査等委員）桃木野 聡 取締役 門田 晶子 取締役（監査等委員）山本 隆章 取締役 世耕 久美子 取締役（監査等委員）宮川 博次
従業員数	320名 うち 臨時雇用者等 137名（2024年2月29日現在） 他 派遣社員26名
所在地	出水事業所 〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地 高尾野事業所 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	・精密機械、精密機器の設計、製造、加工、組立 ・精密機械部品の設計及び製作 ・産業及び医療機械器具の設計、製造、販売 ・精密機械部品及び機械装置の点検、修理 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸
経営理念	・技術は究極を目指し ・競争と協調を尊び ・技術注力企業として社会に貢献する  経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。

発行済株式総数	13,053,000株	
単元株式数	100株	
株主総数	10,744名	
大株主 （普通株式）	前田 俊一	4,835,783株
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,046,400株
	前田 美佐子	504,000株
	野村證券株式会社	275,438株
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY FOR STATE STREET BANK INTERNATIONAL GMBH, LUXEMBOURG BRANCH ON BEHALF OF ITS CLIENTS: CLIENT OMNI OM25	187,886株
	前田 良子	180,000株
	五十嵐 光栄	169,000株
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	149,700株
	BNYMSANV RE GCLB RE JP RD LMGC	135,746株
	マルマエ共栄会	130,000株

（注）自己株式が399,162株あります。  
（2024年2月29日現在）